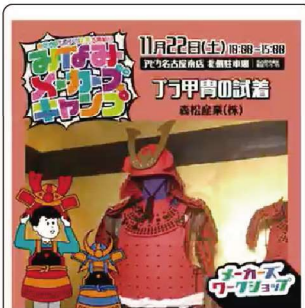




南区内のものづくり企業が大集結！
区内 7 企業が誇る技術を見て・触れて・体験できる「メーカーズワークショップ」と区内ものづくり企業から提供を受けた廃材を用いたワークショップ「アップサイクル BASE」からなる豪華二本立てのイベントです。



みなみメーカーズキャンプに参加いたしました！



プラスチック甲冑を試着しよう！

10 時から 15 時までの短時間の開催でしたが 74 名の森松ブース来場者を迎え、盛況のうちに終了しました！
やはりお子さんが甲冑を着た時の親御さんの驚き・喜ぶ顔には毎回感動します。



発信すること

森 直樹（社長）



今年は酷暑の夏を迎え、冬の寒さも例年より少し暖かく感じます。しかし、これからが冬本番となるため、例年通りの気候になるかどうか、少し不安もあります。以前、「まず行動してみよう」という趣旨のコラムを書きましたが、それに関連して「発信すること」について感じたことがあります。社内・社外問わず面談を行った際、自分の要望や将来的な展望を伝えることで、さまざまな反応や意見、感想が返ってきます。その中で、自分の考えがどう受け止められているかが分かるだけでなく、実現に向けて何が不足しているか、アイデア自体が現実的かどうかなど、根本的なことも含めて自分自身の「現在地」を知ることができます。その結果、再度考え直し、アイデアはより現実的・実現可能なものに近づきます。逆に方向転換を求められる場合もあるでしょう。こうしたことを含めて、自分の頭の中だけで思考を巡らせるのではなく、早い段階で誰かの意見を求めることが、より早く実現可能に向けた行動につながるのだと感じます。今ならば AI と対話を繰り返すことで、面談と同様のことが可能です。これほど便利な相談相手は他にないのではないのでしょうか（とにかく聞きやすく、いつでもすぐ対応してくれる）。また、もう一つ「発信すること」について思うのは、頭の中に浮かんでいることを言語化することで、自分の考えが整理できるということです。その結果、アイデアがより鮮明にイメージしやすくなります。自分の考えを発信すること、そしてそのための言語化。どちらもこの社内報でのコラムもその行動のひとつですが、今後もどんどん発信量を増やしていくことが重要だと考えます。



何気なくTVを見ていてがどんどん引き込まれていったのが「世界の山ちゃん」の再建と成功の話だった。居酒屋チェーン「世界の山ちゃん」の創業者である夫・山本重雄さんの急逝後、経営未経験ながら会社を引き継ぎ、社員と共に見事に再建・成長させた女性経営者 久美社長の話し。スポーツで培った統率力、教員経験、バスケットボールチームの指導者としての実績と経験が、社員をまとめる重要な基盤となっていて感じた。2016年、突然の社長就任に戸惑いながらも、家族を守る専業主婦、経営未経験、知らずして培った人間力と誠実さから、社員との信頼関係を築いていった。広報誌「てばさ記」は、主婦当時から、社員や顧客との会話を通じて制作していたそうだ。コロナ禍では「閉店」という苦境に直面しながらも、社員と共に乗り越え、2024年には東京・有楽町に新店舗をオープンしている。過去最高売上を達成するなど、新たなブランドの再構築にも成功している。創業者の理念「鳥男魂」を受け継ぎながら、社員と共に新メニューを導入し、時代にマッチさせながら、更なる進化を遂げていることに驚くばかりであった。久美社長の経営スタイルは、知識よりも共感と誠実さを重視する「リーダーシップ」だと。解らないことを正直に聞いて教えてもらう「素直な姿勢」は、本当に素晴らしいと思う。「現場主義と感謝の言葉」を大切に、社員との信頼関係を築きあげた。そして、「理念」をも共有することで「組織の軸」までも強化していった。その姿勢は、社員の厚い信頼を寄せ、「組織改革」を成し遂げた新たな手法なのだと感じた。素人だからこそ「既成概念」にとらわれず、「柔軟な発想」と「行動力」が生まれてくるのだろうか？使命感や才能なのか？多業種からの講師依頼、企業経営やリーダーシップに関する講演活動もされているそうだ。長い人生の大きなヒントになりそうだ。

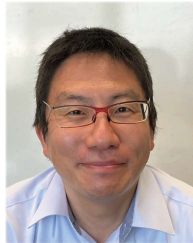
名古屋ラーメン

大和田 タ美（営業部）

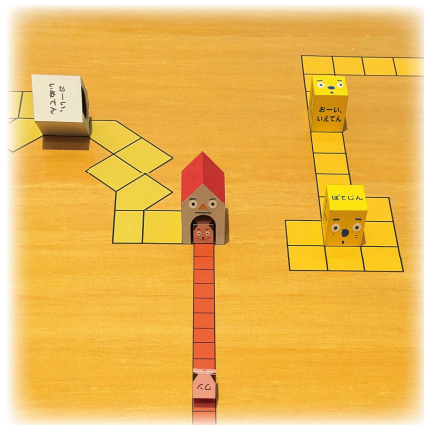


10月上旬、東京の渋谷に「矢場味仙 東京」がオープンしました。行列のできる名古屋めしで有名です。私がよく行く味仙も、行列ができており、休日のランチも、開店前から50名ほど、並んでいます。名物メニューの「台湾ラーメン」ですが、台湾と名前がついていますが、台湾には存在しないそうで、味仙のオリジナル料理だそうです。又、台湾ラーメンの味、他の料理も、店舗によって違うようです。味付けが違う理由は、創業者の5人の兄弟姉妹が、それぞれ独立して店を開いたため、お店によって味付けが違うようです。名古屋市内だけでも複数の店舗が存在します。食べ比べをして「自分好みの味仙」を見つけるのも楽しいのではないかと思います。辛い食べ物が苦手な方でも、辛い料理もあります。チャーハン等、一般的な中華料理も用意してあるので、お子様連れのお客様も見かけます。出張や観光で、名古屋を訪れる際には、ぜひ複数の店舗を巡ってみてはいかがでしょうか。又、まったく辛いラーメンが苦手な方は、“隠れ名古屋ラーメン”ともいべき存在「ラーメン福」があります。ラーメン福は、昭和53年創業、名古屋を中心に愛知県内のみで10店舗を展開するローカルチェーン店です。昨今、濃厚ラーメンが多い中で、ラーメン福は、茹でもやし大量にのって、スープはこってりしているようで後味は不思議とさっぱりして、備え付けの辛みそを入れて味変する事で、不思議とまた食べたくなる、“普通のラーメン”なのです。どの店舗も、駐車場満車、カウンターがびっしり埋まるほど、こちらのお店も、開店前から並んでいることもあります。熱心な常連をがっちりつかんでいる、愛されチェーン店なのです。





10月某日、横浜美術館にて開催されていた「佐藤雅彦展 新しい×（作り方＋分かり方）」に子供たちと一緒にに行ってきました。佐藤雅彦氏とは、過去にCMプランナーとして様々なヒット作がある方です。「ポリンキー」「ドンタコス」「バザールでござーる」など90年代に多数のヒット作を生み出し、「だんご3兄弟」「ピタゴラスイッチ」「Eテレ0655&2355」の今も活躍されているクリエイターです。この展覧会に前々から行こうとは考えていたのですが、暑いのはできるだけ避けたかった為、会期終盤に行こうかと考えていましたが、チケットを取るのに1か月前に取らないと希望する時間帯に行けないことがわかり、何度かチャレンジしてようやく取れました。横浜美術館に着くと早速ヒット作を観れるブースがありました。自身は子供の頃にやっていたあのCMがこの人から生み出された作品のなのか!と驚かされることばかりでした。子供たちはというと、クスツと笑えるCMに爆笑。確かに他の子供たちも笑ったりしていたのを見ると、どの時代もウケるCMというのは変わらないのだろうか、と思ったりしました。一通りヒット作のCMを観終わると、そのCMがなぜ生み出されたのか?というところと、どうやって作っていったのかを説明する展示が続きます。子供向けの展示は後半部に様々あり、テレビで見慣れたピタゴラスイッチで実際に放映された実物展示などを見て楽しんでいました。その後11月の初旬に東京大学の安田講堂で講演もやられるとのことで、予約して行こうかと思いましたが、既に満席。アーカイブを観るか、と残念に思いつつアーカイブを視聴したいと思いました。



夏コミ

小俣 蓮（製造部）



8月中旬に開催された夏のコミックマーケット（通称“夏コミ”）に参加してきました。とにかく“熱気”がすごかった。気温の暑さだけでなく、参加者の熱意や活気がその場全体を包んでいて、歩いてるだけでイベントのエネルギーが伝わってくる感じでした。炎天下の中、汗だくで外で並ぶのは本当に地獄でした。私自身、アニメやゲームなどは多少知識がありますが、コミケのような作家さん等にはかなり疎いため、サークルスペースは行列の進行方向の流れに沿って色々見て回りました。モノづくりのサークルや企業ブースなども多々あり、買わずに見てるだけでも楽しめました。中でもひと際人目を浴びてた場所はコスプレエリアでした。完成度の高いコスプレが多く、カメラマンも大量…。しかも外だったため、かなり日が当たる場所でコスプレをしている人たちもカメラマンもかなり大変そうでした。



昨年の夏コミと比べると、今年の夏コミは来場者数が少なかったそう。帰るころには体力をすべて使い果たしてぐったりしていたけれど、「また来たいな」と思わせる満足感が勝っていた。疲労すら心地よい達成感に変わるのが夏コミであり、この場所が多くの人に愛され続けている理由なのだと思う。ただ真夏は外も中も暑すぎたので、冬に行くのが無難かなと思いました。

～行事に触れて季節を感じる～

一年の締めくくりとなる12月は季節の行事が多く、気持ちも慌ただしくなる時期です。

身の回りの行事に目を向けながら、心を整えて過ごしてみましょう。

・冬至（12月22日頃）

ゆず湯に浸かり体を温め、かぼちゃを食べて無病息災を願う昔ながらの習わしがあります。

・クリスマス（12月25日）

街が華やぐ季節。家族や仲間と過ごす時間が、心のリフレッシュにつながります。

・大掃除

一年のホコリを落とし、気持ちよく新年を迎える準備を。職場でも整理整頓のよいタイミングです。

・仕事納め

一年の振り返りと、周囲への感謝を伝える大切な節目。

1年を締めくくる12月の行事にそっと心を寄せることで、

日々の慌ただしさが和らぎ、穏やかな気持ちで新しい年へと歩み出せるでしょう。

名古屋弁

大脇 奈緒美（森松産業）

突然ですが、皆さんは下の文がスラスラ読めますか？「キットカット買っとかんといかんかったのに、あんたが買っとかんかったでいかんかったんだわ」生粋の名古屋人はきっと読むことも、意味も理解できたと思います。この早口言葉は名古屋弁の魅力を伝える言葉遊びとして知られているフレーズです。

直訳すると「キットカットを買っておかなければいけなかったのに、あんたが買っていないからダメだったんだよ」という意味になります。もっと有名な名古屋弁といえば、鎌倉ハムKウインナーのCM「まあ！本まあ！本と、たいがいにしとかないかんよ！今晚のおかずがわやになってしまった、鎌倉さんもいかんわあ、うますぎるもん」…懐かしいですね。方言は歴史的経緯により、地域ごとに言葉が変化・固定化することで生まれたそうです。普段何気なく使っている言葉やイントネーションは『標準語』ではないということ、そして

名古屋弁は少しキツく・強気に聞こえてしまうようです。正直、名古屋弁はあまり綺麗な言葉には聞こえないなあという印象があります（^^;）が、しかし【女子の可愛い方言ランキング】では意外にもなんと8位だそうです。微妙な結果ではありますが、他県の方からすると強気な言葉も方言の愛嬌に聞こえるなら名古屋弁もわるくないなあと感じました。早口言葉、是非ご家族やご友人に試してみてください！



キットカット買っとかんと
いかんかったのに



あんたが買っとかんかったで
いかんかったんだわ